

トロピカルミュージアム来場者 5万人達成記念セレモニー



↑ 5万人目の来場者となった団体の皆さんと記念撮影

ニッ沼総合公園内の「トロピカルフルーツミュージアム」は8月6日（日）、来場者5万人を達成し記念セレモニーを行いました。5万人目となったのは、三春町にあるコミュニティ福島「コミュニティサイエンスアカデミア」に参加した小学生と保護者の38名の団体の皆さんで、バスツアーでミュージアムに訪れました。記念セレモニーでは、遠藤町長が参加者38名に町特産バナナ「綺麗」と綺麗を使ったバナナプリンを贈呈しました。

あぶくま信用金庫が広野町に 軟骨伝導イヤホンを寄贈



↑ 贈呈式に出席した菅沼支店長（左）と遠藤町長

あぶくま信用金庫が広野町に対して軟骨伝導イヤホンなどを寄贈するため、8月9日（水）、広野町役場で贈呈式が行われました。この贈呈は、平成28年4月に締結した「広野町とあぶくま信用金庫との地域密着総合連携協定」に基づき、地域活性化および住民サービスの向上、地域貢献活動の一環として行われたものです。贈呈式では、菅沼富士子広野支店長から遠藤町長へ寄贈品の贈呈が行われ、遠藤町長が「福祉のまちづくりの推進に向け、庁舎窓口で使用させていただき、住民の皆さんが利用しやすい環境を整えていきます。」と挨拶しました。

広野町・議会合同要望活動を実施



↑ 竹谷とし子復興副大臣へ要望書を提出

広野町と広野町議会は7月26日（水）、復興庁や経済産業省、環境省などの関係省庁、自民党復興加速化本部に対して要望活動を実施しました。復興庁では、2025年度までの第2期復興・創生期間の終了後も復興に必要な財源を確保するよう、竹谷とし子復興副大臣に要望書を手渡しました。避難生活が長期化する町民の負担を軽減するための高速道路無料化の継続や、医療と介護、福祉体制の充実に向けた支援、農産物の風評対策の強化などについて、国の積極的な支援を求めました。

ひろの移動水族館を開催



↑ 展示されている生物を観察する参加者

いわき市のアクアマリンふくしまで展示されている生き物を見学できる「ひろの移動水族館」が7月29日（土）と30日（日）、ひろの未来館で開催されました。移動式の水槽には、ヒトデやウニ、ナマコ、イセエビなどが展示され、参加した子どもたちは歓声を上げながら、水の中に手を入れて海の生き物に触れていました。当日は化石発掘体験や勾玉づくり体験なども行われ、2日間で約300名が来場し、親子連れで賑わいました。

第12回ふくしま学（楽）会を開催



↑ ふくしま学（楽）会の参加者に対して挨拶する遠藤町長

早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター主催の「第12回ふくしま学（楽）会」が7月30日（日）、ふたば未来学園で開催されました。町では、平成29年5月に早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターを開所し、福島が抱える問題について考える『対話の場』を定期的で開催しています。今回の学会では、浜通りで活動する企業や団体の代表者、高校生ら約100人が参加し、「私たちの創造的復興とは何か？福島復興と日本社会」をテーマに活発な議論を交わしました。

広野町営学習塾開講式を開催



↑ 開講式に出席した大学生（左から2・3番目）と受講者の中学生たち

町内の中学生を対象とした令和5年度町営学習塾の開講式が7月29日（土）、ひろの未来館で行われました。町営学習塾は、中学生の基礎学力の向上や高校入試を見据えた学習環境を整えようと、平成26年度から開講しており、首都圏の大学生らのボランティアグループ「AAO」の学生が講師を務め、子どもたちが学びたい教科の指導や進路相談などを行います。開講式には、ボランティアグループの大学生2名と受講生の中学生7名が出席し、受講生は遠藤町長から受講者証を交付され、学力向上に向けて気持ちを新たにしました。

広野町健康づくり事業推進協議会 委員委嘱状交付式



↑ 委員の皆さんに挨拶する遠藤町長

広野町の健康づくり事業推進協議会の委員に対する委嘱状交付式が7月25日（火）、保健センターで行われ、委員20名に委嘱状を交付しました。協議会では、会長に松本登志枝さん（食生活改善推進協議会長）、副会長に金子晴美さん（保健協力員兼母子推進員）が選任されました。町は平成31年3月に第2次町健康づくり計画を策定し、「一人ひとりが健康でみんなが元気に暮らせるまち」を目指して健康施策を進めています。協議会は今後、10年間の計画の折り返しとして中間報告を行い、町民の健康課題の改善に向けた取り組みを進めていきます。

ふたば未来学園バドミントン部を 激励



↑ インターハイに向けて活躍を誓う選手の皆さん

遠藤町長は8月9日（水）、8月16日（水）に北海道札幌市で開催される全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に出場するふたば未来学園高校のバドミントン部を激励するため、同校の体育館を訪れました。遠藤町長は、選手の皆さんへ「世界に向けて、夢に向けて大いに自分の力を発揮してほしい。」と挨拶し、代表者に目録を手渡しました。令和5年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技は、令和5年8月16日（水）から21日（月）にかけて、北海道札幌市で開催されました。